

表7. 平成21年度 修士論文題目

建築学専攻

| 氏名 | 指導教員 | 修士論文題目 |
|--------|-----------|---|
| 石川 真実 | 吉田 哲准教授 | 京都市中心繁華街における歩行空間からの屋外広告物の見え方の研究 |
| 井上 和歌子 | 林 康裕教授 | 液状化を考慮した地震動増幅率と地盤変位の簡便評価法 |
| 茨田 一平 | 上谷 宏二教授 | ミニチュア煉瓦壁の面外曲げ振動台実験 |
| 梅原 遼 | 中島 正愛教授 | 原点回帰性を持つパイリニア復元部材を利用した残留変形低減システムの開発 |
| 沖 卓生 | 石田 泰一郎准教授 | 透過性を有するパーティションが室空間に与える心理的効果の定量化とその応用に関する研究 |
| 北川 裕馬 | 上谷 宏二教授 | 部材破断の不確定性を考慮したトラス構造物のロバスト最適設計法 |
| 櫛田 浩太 | 上谷 宏二教授 | 超塑性ダンパーを用いた木造住宅の最適耐震補強設計 |
| 近藤 康子 | 田路 貴浩准教授 | 堀口捨己の建築思想に関する一考察 ——茶の湯の思想についての論考に即して—— |
| 坂本 尚朗 | 吉田 哲准教授 | 中国・合肥市と南京市における購買施設の選択と満足度の関係 |
| 柴田 憲吾 | 高橋 康夫教授 | 近世山城国上津屋村に関する研究 |
| 瀬見 理絵 | 山岸 常人准教授 | 近世摂津国池田村に関する研究 |
| 田井 暢 | 中島 正愛教授 | 鋼構造建物の床スラブとして機能するSFRCコンクリートダイアフラム柱梁接合形式の開発 |
| 多田 裕一 | 吹田 啓一郎教授 | 支圧を考慮した高力ボルト接合部の最大耐力評価 |
| 多田 涼 | 竹山 聖准教授 | 近代日本(ベランダ)論 |
| 立岡 優介 | 吉田 哲准教授 | 生活時間調査法に基づいたナレッジワーカーのワークスタイルの研究 |
| 田中 和樹 | 林 康裕教授 | 活断層の震源パラメータが震源域の地震動特性や建物応答特性に及ぼす影響 |
| 田中 荘太郎 | 原田 和典准教授 | 火災時における天井開口部の煙流出性状 |
| 田伏 祐貴 | 金多 隆准教授 | 超高層集合住宅のプロジェクトライフサイクルにおけるリスク情報の共有化に関する研究 |
| 寺村 雄機 | 高松 伸教授 | 篠原一男の創作における言語の役割に関する一考察 |
| 土井 公人 | 河野 進准教授 | 有開口RC造耐震壁におけるせん断抵抗機構のモデル化に関する研究 |
| 富岡 良太 | 上谷 宏二教授 | 一様曲率三角形有限要素法を用いた曲面板構造物の塑性解析 |
| 長塚 洋昌 | 金多 隆准教授 | 賃貸事務所建築物におけるトイレ設計仕様に関する研究 |
| 中村 朋世 | 吉田 哲准教授 | 小学生の通学路及び帰宅後外出時の移動経路の空間的特徴の研究 |
| 西岡 渉 | 高橋 康夫教授 | 近世西岡下桂村の研究 |
| 橋本 行央 | 門内 輝行教授 | 3次元CGを用いた現代都市景観の多層性の分析と評価 — 京都・三条通りを対象として — |
| 長谷川 弘明 | 河野 進准教授 | 高強度材料を用いたPCaPC柱の終局時水平耐力に関する研究 |
| 長谷部 裕 | 林 康裕教授 | 良好な住宅ストック形成のための地域型木造住宅群の地震リスクマネジメント法 |

| | | |
|--------|-----------|---|
| 濱田 征彦 | 上谷 宏二教授 | 制振ブレース付超高層鋼構造建築の強震時応答におけるP- Δ 効果の影響 |
| 林 曉恵 | 吉田 哲准教授 | 中国の住宅団地の住棟およびオープンスペースの配置・計画の変遷 -1980年以降の南京・合肥を対象として- |
| 東川 雄哉 | 加藤 直樹教授 | 不完全情報下での複数人の探索者によるグラフ探索問題 |
| 平井 雅 | 竹山 聖准教授 | 「Tokyo」に対する他者のまなざしの変容に関する研究 -海外からの視点に基づく映像を通して- |
| 福井 章友 | 吉田 哲准教授 | 京都市中心市街地商店街店舗の存続・交替要因 -1991-2009年を対象として- |
| 福井 浩文 | 古阪 秀三准教授 | 住宅生産供給システムにおけるクレーム低減に関する基礎的研究 -新築戸建住宅における具体的事例から- |
| 藤田 慎之輔 | 大崎 純准教授 | 非力学的性能を考慮したシェル構造物の形状最適化 |
| 前川 道郎 | 門内 輝行教授 | コミュニティ・ガバナンスに基づく町並みの景観形成に関する研究 -京都市修徳学区を対象として- |
| 麻柄 翔太郎 | 銚井 修一教授 | 住宅の給湯配管における熱損失に関する研究 |
| 昌川 明鎬 | 竹山 聖准教授 | 建築と身体性の変容についての考察 -「ログ的身体」をめぐる- |
| 水野 将明 | 石田 泰一郎准教授 | 照明光の空間分布の特徴量に基づいた視覚的印象の総合評価に関する研究 |
| 南野 友子 | 門内 輝行教授 | 認知地図を用いたキャンパス空間のイメージ構造に関する研究 |
| 宮下 享大 | 加藤 直樹教授 | 画像解析による防水シートの残存強度推定モデルの開発 |
| 山本 恵理 | 山岸 常人准教授 | 近世伊丹郷町に関する研究 |
| 脇田 和幸 | 銚井 修一教授 | 書庫の温熱環境の実態調査と温湿度解析 |
| 和多田 遼 | 大崎 純准教授 | 軸対称シェルの最適トポロジーにおける対称性と唯一性の検証 |
| 蘇 鐘鈺 | 吹田 啓一郎教授 | 地震時に鋼柱に作用するP Δ モーメントの簡易予測 |
| 孫 銅華 | 吉田 哲准教授 | 京都市旧市街地型美観地区の中高層集合住宅ファサードの構成要素の感性評価 -ラフ集合を用いた構成要素組み合わせの抽出 |
| 張 諾莎 | 原田 和典准教授 | 廊下状空間における煙流動状態に関する研究 |
| 童 燁 | 大崎 純准教授 | 学校体育館の耐震性能診断法の検証と損傷後の耐力評価 |
| 李 在満 | 西山 峰広教授 | PCaPC梁のせん断抵抗機構に関する研究 |
| 新木 郁生 | 上谷 宏二教授 | 高力ボルトによる鋼木簡易接合法の開発と複合断面部材の性能評価 |
| 河野 直 | 吉田 哲准教授 | 自席での執務時におけるワーカーの覚醒度とその変化要因の研究 |
| 藤田 桃子 | 吉田 哲准教授 | 京都市中心市街地・商店街の歩行空間における滞留の研究 |

都市環境工学専攻

| 氏名 | 指導教員 | 修士論文題目 |
|-------|----------|------------------------------|
| 足立 圭佑 | 田村 修次准教授 | 非線形相互作用が直接基礎建物の地震時応答に及ぼす影響 |
| 稲田 和馬 | 田中 仁史教授 | RC造コア壁における水平力抵抗機構のモデル化に関する研究 |

| | | |
|---------------------|----------|---|
| 稲田 克年 | 伊勢 史郎准教授 | 境界音場制御の原理に基づく音場再現システムにおける再現精度改善の試み—音場収録・再生時における頭部境界条件誤差の影響に関する検討— |
| 井本 桂右 | 伊勢 史郎准教授 | 建築設備としての運用を考慮したANCシステムに関する研究 |
| 梶原 真一 | 金子 佳生教授 | RC造建物の3次元動的非線形有限要素解析に基づく耐震補強法の性能評価に関する解析的研究 |
| 金森 雅純 | 竹脇 出教授 | 免震建物の免震層ダンパーの特性変化を考慮した限界アスペクト比 |
| 國分 宏樹 | 竹脇 出教授 | 非線形復元力特性を有する制振ダンパーの構造縮約モデルを用いた最適配置法 |
| 新開 洋介 | 高田 光雄教授 | 地域交流施設として活用する廃校舎における教室空間の可変性に関する研究 |
| 田中 佑樹 | 田中 仁史教授 | 制振機能を有する損傷制御型RC構造システムの開発研究 |
| 藪羽 琢元 | 高橋 大武教授 | 二重床構造の重量衝撃音における空気抜き効果に関する研究 |
| 中川 大輔 | 竹脇 出教授 | アウトフレーム型連結制振構法におけるアウトフレーム及び連結ダンパーの応答低減比マップを用いた設計法 |
| 中堂 敬司 | 伊勢 史郎准教授 | 三次元音場再現システムにおける音源配置の定量的評価法の研究—Gram Schmidtの直交化による音源配置選定アルゴリズムの実験的検討— |
| 平井 大介 | 上谷 芳昭准教授 | 窓面の不快グレアの予測法と昼光照明制御システムへの応用に関する研究 |
| 平井 陽 | 高田 光雄教授 | 津山市中心市街地の個人商店にみる高齢者の自然発生的交流空間に関する研究 |
| 藤井 詩織 | 高田 光雄教授 | 民間事業者が管理する学生寮における共同生活の自主運営に関する研究—シェアフラット桜木を事例として— |
| 松谷 清孝 | 高橋 大武教授 | 法線微分型境界積分方程式法の計算効率改善に関する研究 — 吸音面を有する室内音場についての検討 — |
| 南井 厚美 | 高田 光雄教授 | 地域コミュニティ形成に向けた福祉施設併設型公営住宅団地の運営に関する研究—京都府営住宅M団地を事例として— |
| 村田 翔太郎 | 竹脇 出教授 | 戸建住宅の微小振動制御のためのポストテンション型制振機構 |
| 山崎 晋一 | 高田 光雄教授 | 工業用途減少地域における中高層共同住宅供給に関する研究—大阪市西淀川区を対象とした統計分析と民間事業者へのヒアリングを通じて— |
| 穆 瑞林 | 高橋 大武教授 | 微細穿孔板の適用が多層構造の遮音性能に及ぼす影響 |
| IGOR TAKESHI SANADA | 伊勢 史郎准教授 | 境界音場制御の原理に基づいた音環境収音・再生システムにおける指向性制御に関する研究 (Study on Directivity Control of a Sound Environment Reproduction System Based on the Boundary Surface Control Principle) |
| 丸川 景子 | 高田 光雄教授 | 居住者の入居経緯からみた再生集合住宅の満足度に関する研究—求道学舎リノベーションを事例として— |

表8. 博士学位(平成21年4月～平成22年3月)

建築学専攻

| 氏名 | 指導教員 | 博士論文題目 |
|--------|---------|--|
| 小林 正実 | 上谷 宏二教授 | 繰り返し荷重を受ける3次元連続体に対する対称限界理論 |
| 多幾山 法子 | 上谷 宏二教授 | 意匠保存を重視した歴史的祖積造建築物の耐震改修に関する実験的研究 |
| 崔 瑤 | 中島 正愛教授 | Development of Joint Systems Using SFRCO for Enhanced Seismic Performance of Steel Structures (鋼構造建物耐震性向上をめざした鋼繊維補強セメント系材料を用いた接合システムの開発) |
| 松岡 祐一 | 中島 正愛教授 | 非構造部材を有する鋼構造骨組の震動台実験と耐震性能評価 |

| | | |
|--------|---------|--|
| 田中 禎彦 | 高橋 康夫教授 | 日本植民地における歴史的建造物の調査保存事業 中国東北部(満州国)、朝鮮を中心として |
| 伊庭 千恵美 | 鈴木 修一教授 | 粘土瓦の水分異動特性と温暖地における凍結・融解過程に関する基礎的研究 |
| 新谷 祐介 | 鈴木 修一教授 | 建築空間における初期火災拡大性状予測に関する研究 |
| 仲島 崇博 | 中島 正愛教授 | 境界音場制御の原理に基づくアクティブノイズコントロールに関する研究 |
| 谷川 眞一 | 加藤 直樹教授 | Combinatorial Rigidity and Generation of Discrete Structures (離散構造物の組合せ) |
| 鐘 育霖 | 中島 正愛教授 | Existing Performance and Effect of Retrofit of High-Rise Steel Buildings Subjected to Long Period Ground Motions (長周期震動を受ける高層鋼構造建築物がもつ耐震性能評価と耐震補強効果) |
| 大西 良広 | 林 康裕教授 | 強震動予測手法の高度化と建築物被害推定への利用に関する研究 |
| 木下 拓也 | 林 康裕教授 | コンプライアントメカニズムの生成手法と力学的特性に関する研究 |
| 金 紋廷 | 上谷 宏二教授 | 長周期地震動に対する超高層鋼構造建築物の応答に及ぼすP Δ 効果の影響に関する解析的研究 |

都市環境工学専攻(平成21年4月～平成22年3月)

| 氏 名 | 指導教員 | 博 士 論 文 題 目 |
|-------|---------|---|
| 石橋 登 | 高田 光雄教授 | 組合土地区画整理事業によって作られた民間開発郊外住宅地に関する研究 -多摩田園都市を事例として- |
| 赤崎 盛久 | 高田 光雄教授 | 経営的側面からみた工業化住宅の生産・供給の変遷に関する研究 -主として有価主権報告書の分析による- |
| 李 炫尚 | 高田 光雄教授 | 韓国における住宅性能表示制度の受容に関する研究 -日本の住宅性能表示制度との比較による- |
| 郭 雅雯 | 高田 光雄教授 | 台湾の日式住宅における居住空間の変容過程に関する研究 -台北市青田街を対象として- |
| 許 方 | 高田 光雄教授 | A Study on Supporting System for the Elderly at Home of the Community Level in Beijing -Through the Comparative Study of Three Cases (北京市における社区高齢者支援システムに関する研究 -三つの事例調査とその比較分析を通じて) |
| 金 東賢 | 田中 啓義教授 | A Study for Surface Fire Behavior and Flame Spread Model in Forest Fire (森林火災における表面火災の性状および火災伝播モデルに関する研究) |